

ART OF HOSTING 2010 Autumn



「私たちはどのようにすれば、この不確実な時代において
共に智慧を出し合い、協力して行動できるのでしょうか？」

Art of Hosting とは、ワールド・カフェなどの対話の場を設けるために必要な Hosting の
Art (スキル) を身に付けるためのトレーニングです。

コミュニティや組織の再生・強化のための方法、地域コミュニティを支援するための
方法として世界中で展開されています。

11月19日(金) - 21(日)の3日間を通じ2泊3日の宿泊型のワークショップとして、
日本における第2回の Art of Hosting を開催します。

会場となるのは、自然豊かな清里高原。実施のために来日するのは、母体となっている
The Berkana Institute の共同設立者 Bob Stilger 氏以下、豊富な実戦経験と優れた
人間性を持つ4名のファシリテーターです。

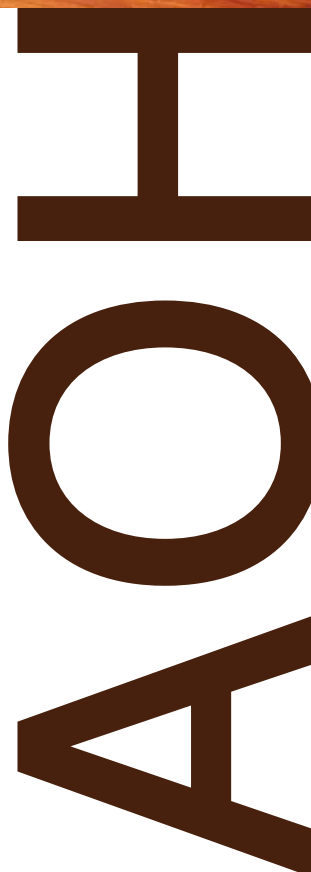
皆様のご参加、心よりお待ちしております。

対話の場をリードし、コミュニティを創り上げる Art of Hosting

11.19 fri - 11.21 sun @清里高原

主催：Art of Hosting in Japan 共催：ダイアログ Bar 協力：財団法人 KEEP 協会 清泉寮, The Berkana Institute, ソーシャルベンチャー四国, 英治出版, ワールド・カフェ・ネット

※他にも10月末から12月にかけて、Art of Hosting に触れるワークショップやダイアログがあります。詳細はHPをご覧ください → <http://artofhosting-japan.org/events/>



ART OF HOSTING 2010 Autumn

●日程

2010年11月19日(金)~11月21日(日)
2泊3日(前泊、後泊の必要はありません)

●場所

会場：山梨県清里高原 KEEP 協会 国際交流研修センター
宿泊：山梨県清里高原 KEEP 協会 清泉寮新館

(アクセス)

JR 新宿駅より中央線特急に乗り「小淵沢」駅で乗り換え、小梅線「清里」駅で下車。

所要時間は、約2時間半。「清里」駅より会場の KEEP 協会まで無料バスにて送迎します。

●定員

45名(スタッフ枠15名を含む) ※ 最小催行人数35名

●参加費用

【通常参加】150,000円(食事・宿泊実費別、現地までの交通費別)

※ 宿泊(食事(3食)付き)を1泊12000-13000円程度で準備しています。朝食、夕食はオーガニックフードと地元の食材を使ったビュッフェ形式です。

※ 宿泊費は、宿泊人数によって金額が変動する可能性があるため、金額の決定後、参加費とは別に後日改めて振込のご連絡をいたします。

●申し込み方法

AOH の HP 申込みフォームにアクセスし、必要事項を記載の上、送信下さい。なお、申込みの完了は、参加費の入金をもってとします。

※ 申込みフォーム → <http://bit.ly/aBsh4t>

お問い合わせ先： info@artofhosting-japan.org (AoH_J 事務局)

Web サイト： <http://www.artofhosting-japan.org/>

ツイッターアカウント @aoh_J ハッシュタグ #aoh_J



【こんな人におすすめです】

- 【1】不確実な時代における新しいリーダーシップ、組織、グループ、チームの導き方について学び、スキルを身につけたい
- 【2】地域とコミュニティの内発的な再生のための方法とスキルを身につけたい
- 【3】組織、コミュニティ、チームが共創と共働の下で力強く前進していくための変化を生み出す方法を学びスキルを身につけたい
- 【4】組織、チームが新しい可能性を見出すような会話と対話のリードの方法を学び、スキルを身につけたい
- 【5】ワークショップの背景となっている、対話のツール、ワークショップデザインの理論について学び、身につけたい
- 【6】他の実践者とのネットワークを築き、異なる分野、立場のアイデアを取り込み、コラボレーションを起こしていく基盤を創りたい

【Art of Hosting は、以下の機会を提供します】

- 【1】ワールドカフェ、OST、サークルなどの対話の場を設けるファシリテーションの基礎的なスキルを学び、身につける
- 【2】混沌と秩序のバランスの中で歩いていくリーダーシップ学び、身につける
- 【3】組織を変革し、健全なコミュニティを築くための方法を学び、身につける
- 【4】他の実践者と共にコラボレーションを起こし、新しい変化を生み出すアクションをはじめる
- 【5】変化の激しい時代の中でより良い社会を創るためのソーシャルイノベーションを実現する、新しい方法を学び、身につける